

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和4年5月13日（金）

### 2 確認箇所

- ・ 5・6号機サブドレン集水設備（5・6号機建屋周辺等）
- ・ 6号機タービン建屋地下階

### 3 確認項目

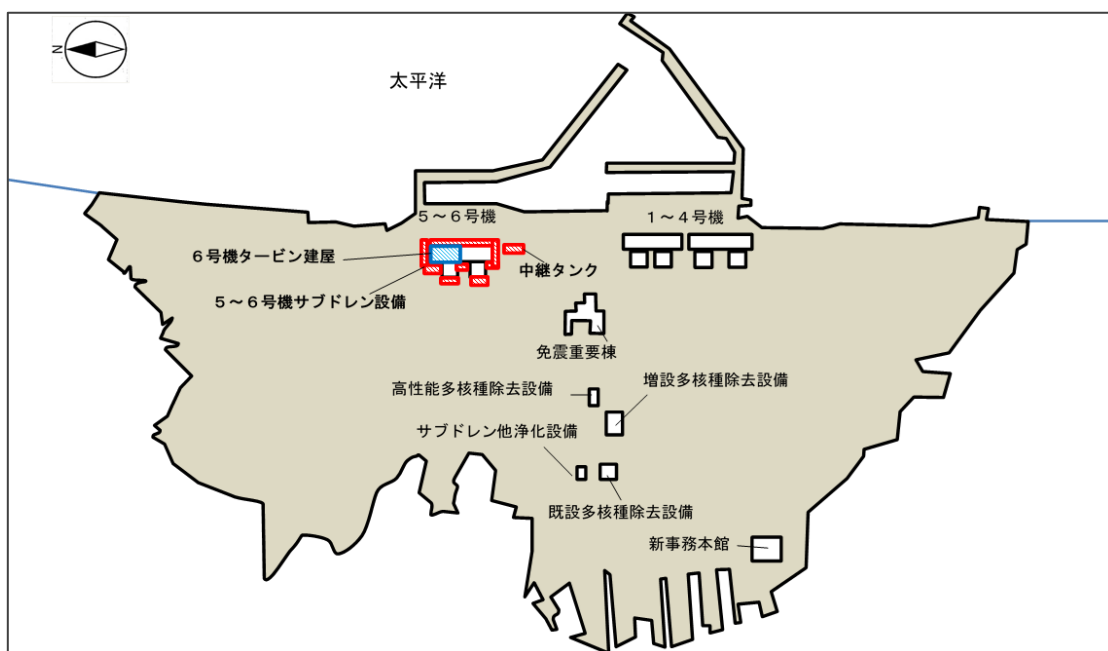
5・6号機サブドレン集水設備復旧工事後の状況

### 4 確認結果の概要

5・6号機サブドレン集水設備復旧工事<sup>※</sup>が完了し、令和4年3月28日から同設備の運用が開始されていることから現状を確認するとともに、5・6号機建屋に流入する地下水の状況についても確認した。（図1）（前回確認：令和3年4月19日（6号機タービン建屋地下階）、令和4年1月18日（5・6号機サブドレン集水設備））

- ・ 5・6号機サブドレン集水設備については、前回確認時、揚水ポンプや水位計の設置が完了していたが、サブドレンピットの覆いが未設置であった。今回確認時には、サブドレンピット全体がシートで覆われていた。（写真1）
- ・ サブドレンピットの運転状況については現場では確認出来なかったが、東京電力によると、本年4月14日より24時間運転に移行しているとのことである。
- ・ 中継タンクが設置されている堰には雨除けカバーが新たに設置されていた。（写真2）
- ・ 5・6号機建屋への地下水流入状況を確認するために、6号機タービン建屋地下階の状況を確認したところ、壁面等から地下水が建屋内へ流入しており、滞留水の水位は前回確認時とほぼ同等であった。なお、滞留水の水位は東京電力が設定した管理値（床面+約2m以下）内であった。（写真3）

※5・6号機サブドレン集水設備復旧工事 5・6号機建屋への地下水流入を抑制するため、東日本大震災以降、稼働を停止している5・6号機建屋周辺のサブドレン設備を復旧し、集水した地下水については中継タンクを經由して既存の1～4号機サブドレン集水タンクに移送する設備を整備する工事であり、13基のサブドレンピットを復旧し2基の中継タンクが新規に設置された。なお、当該工事は令和2年（2020年）9月から開始された。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)  
サブドレンピットNo.72の状況  
(5号機タービン建屋東側)  
(前回(令和4年1月18日)撮影)



(写真1-2)  
同左  
(今回(令和4年5月13日)撮影)



(写真2-1)  
中継タンク周囲の状況  
(5号機タービン建屋南側)  
(前回(令和4年1月18日)撮影)



(写真2-2)  
同左  
(今回(令和4年5月13日)撮影)



(写真3-1)  
地下水流入箇所  
(6号機タービン建屋地下階南西側)



(写真3-2)  
(写真3-1)の赤枠箇所の拡大



(写真3-3)  
6号機タービン建屋地下階の滞留水の状況  
(前回(令和3年4月19日)撮影)



(写真3-4)  
同左  
(今回(令和4年5月13日)撮影)

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。